

川崎市多摩川河口部の甲虫類について

雛倉 正人*¹・苅部 治紀*²

The beetles occurred near the estuary of Tama River in Kawasaki City, central Japan

Masato Hinakura*¹・Haruki Karube*²

I はじめに

筆者の一人雛倉は、1999年3月26日に、川崎市の大師河原のヨシ原で調査中、神奈川県では記録されていなかった絶滅危惧種キイロホソゴミムシ *Drypta fulveola* Bates を発見した。多摩川河口部の昆虫類については、既に1984年と1997年に、東京都大田区より詳細な報告がなされているが、川崎市側については十分に調査されてこなかった。多摩川河口部の干潟の周辺は、住宅地や工業用地に囲まれて孤立しているものの、潮間帯の湿地に加えて、ごく小規模な海岸植生も残っている。それゆえ当地は、現在の川崎の自然環境を特徴づけるうえで極めて重要な地域であり、筆者らの調査の過程で、その興味深い甲虫相の一端が明らかになってきた。筆者らは、1999年に自ら発見できた甲虫類の記録をここに報告し、河口域の甲虫の特性について、文献上の知見も含めてまとめておきたい。

II 多摩川河口部の自然環境とそれを特徴づける昆虫

河口の湿地帯は、東京都側の新六郷橋下流と、神奈川県側の大師橋下流に広がっている。この湿地帯は、河川の淡水と海水が混じりあう特殊な環境であり、潮位の変動により干潟が形成され、さまざまな生物が生息している。昆虫では、環境庁のレッドデータブック(1991)で絶滅危惧種に指定されている、ヒヌマイトトンボ *Mortonagrion hirosei* Asahina の生息が特筆される。川崎市では1994年までは多数が確認されている。しかし1998年以降は川崎側からは確認できておらず、1994年に比べて生息地が顕著に乾燥化している。その原因ははっきりしないが、ヨシ原への伏流水や多摩川の流れそのものに変化があったのかもしれない。

今回筆者らが発見したキイロホソゴミムシも、環境庁のレッドデータブックで絶滅危惧種に指定されており、

しかも世界中で東京湾とその近傍のみから知られている。19世紀に東京の本所で発見され、1950年代になって千葉の行徳で再発見されたが、間もなく絶滅したとされる。現在では木更津市の小櫃川河口のヨシ原に生き残っていることが知られており、宮野・山口(1994)により、その生態の一部が明らかにされた。なお、千葉県においてはこのほかに、外房の一宮町東浪見で一例だけ採集記録があり(岩瀬, 1989)、近年数カ所で発見されているという未確認情報もある。松本(1994)は、本種の成虫がウンカの一種を捕食するのを観察している。多摩川では、キイロホソゴミムシは早春流木の下や地表にひそんでいるところが見い出され、時にかなりの数が集合していることがあった。活動期には散らばってしまい、かえって発見しにくい。また生息地の水位も重要で、筆者らが確認しえた生息範囲は、通常の満潮線より上部の、堤防寄りの泥質の場所であった。東京都側でなぜ本種が発見されてこなかったのかは興味深い問題である。本種の生息地は、台風後などの増水時には水をかぶり、このような時には、本来乾燥した堤防の法面を、ヨシ原に生息するクロベンケイガニが音をたてて無数に歩き回っている光景が見られる。キイロホソゴミムシの生息地は、大昔は現在の市街地のところを含め、広範囲に広がっていたものと想像されるが、都市の発展と共に、河川敷内の限られた場所に追いやられたと言ってよいだろう。本種の成虫は飛ぶことができるが、幼虫や蛹の時期の移動能力を考えると、洪水等の水位の急激な変化の中で、いかに生き残ってきたのか考えさせられる。

ヨシ原には、ほかにも特殊な小甲虫が生息する。ヤマトヒメメダカカッコウムシ *Neohydnum hozumii* Nakane は、ヨシの葉や茎の上を敏捷に歩き廻り、他の昆虫等を捕食するらしい。川崎産の本種の生態および幼虫の形態を林(1991)が紹介している。本種はかなり内陸まで分布するようで、関東最大の湿地である渡良瀬遊水池にも多いという(大川, 1997)。神奈川県レッドデータ生物調査報告書によると、これも絶滅危惧種に選定されているが、多摩川河口部では普通に見られるようである。さらに今回、ヨシ原内部の泥質の地表から、神奈川県未記録のツヤマルムネアリズカムシ *Triomicrus simplex*

*1 かわさき自然調査団

*2 神奈川県立生命の星・地球博物館

Sharp が発見された。この種は対岸の大田区では見つからない(金子, 1997)。ハマベミズギワゴミムシ *Bembidion semiluitum* Bates も河口のヨシ原の地表に固有の種である。大田区では普通だが、川崎市側でも今回発見された。ヨシ原にはジュウサンホシテントウ *Hippodamia tredecimpunctata* (Linne) のような湿性草原を好むテントウムシが生息しているが、対岸で得られているババヒメテントウ *Scymnus babai* Sasaji や、ジュウクホシテントウ *Anisosticta Kobensis* Lewis など、今後見出しされる可能性のある種である。

キバナガミズギワゴミムシ *Armatocillenus yokohamae* (Bates) は、満潮線下の河口の泥土部分に生息し、神奈川県レッドデータ生物調査報告書(1995)によると絶滅種として扱われていたが、その後相模川で確認されている。原産地は19世紀の川崎であり、今回は確認できなかったが、まだ生息しているかもしれない。

多摩川の川崎市側を下ると、ヨシ原が一旦なくなり再び現われて、やがて洗剤メーカーの工場がある埋め立て地に突き当たるが、この最も海に近い部分に、ハマヒルガオなどの海浜植物が生えている砂地がある。狭小な河口の砂の堆積であるが、これは川崎に砂浜が存在した時代のなごりともいえるべきものである。事実、ここからは、対岸からはまだ記録されていない海浜性の甲虫が今回発見された。ハマベエンマムシ *Hypocaccus varians* (Schmidt) や、トビイロヒョウタンゾウムシ *Scepticus uniformis* Kono 等がこの例である。後者は大田区が多摩川河川敷では得られていないが、大井埠頭では得られている(江本, 1997)。これらは全国的には珍しいものではなく、神奈川県では三浦・湘南地区の海岸に生息しており(平野, 1997a)、野外では、海浜植物の根際や、石や流木の下で発見される。しかし、海岸が完全に都市化された川崎・横浜地区においては、おそらく最後の生息地である。この一帯には、ほかにもウミベアカバハネカクシ *Phucobius simulator* Sharp や、ハマベオオヒメサビキコリ *Agrypnus tsukamotoi* (Kishii) など、海岸に生息する甲虫がみられる。平野(1997a)によると、ハマベオオヒメサビキコリの後翅は退化しており、河原などに生息する後翅のあるヒメサビキコリ *A. scrofa* とはすみわけているという。神奈川では三浦・湘南地域で知られていた。しかし、鈴木(1997)は、大田区の六郷橋緑地において、両者の同所的な生息例を報じている。

堤防の際に生えるススキからは、クロトゲハムシ *Hispellinus moerens* (Baly) が得られた。草原を好む局地的種で、箱根の仙石原では普通であるが、神奈川県が多摩川流域からは初めての記録である(平野, 1997b)。

堤内地は都市化しているが、ときに興味深い種類が見られる。自動車メーカーの工場の上流側の空き地には、北米からの移入種であるコルリアトキリゴミムシ *Lebia viridis* Say が、かなりの密度で生息している。本種は、1989年に千葉県から記録され、1991年には神奈川県西部まで分布を広げた(平野, 1992)。河原や空き地などの攪乱された環境を好む種類であって、オオマツ

ヨイグサにつくアカバナトビハムシ *Altica oleracea* (Linne) の幼虫を捕食する。色彩も、このハムシと同じ様な光沢ある藍色であり、同じ植物の上で生活している。野外では両者は一瞬見紛うほど良く似ている。しかしゴミムシの方は、まだ花の咲いていない株の頂部を好み、葉の付け根や新芽のすき間にひそんでいることが多い。多摩川河口部ではこのほかにも移入種の記録がある。高桑・中村(1989)は、北米からの移入種であるクモガタテントウ *Psyllobora vigintimaculata* (Say) を記録している。この種類はセイタカアワダチソウに生えるカビの一種を餌としている。

III 提言

多摩川河口部は、羽田空港や京浜工業地帯に囲まれ、いわば日本の中枢部に位置しているにもかかわらず、このように、貴重な生物が厳しい開発圧に耐えて生き残っていたり、海外からの移入種も見られるなど、興味深い地域である。とりわけ淡水と海水が混じりあう不安定な環境を好む種が多く、それらの生息条件は種によって微妙に異なり、生息面積も小さい。従って、環境の変化があると絶滅してしまう可能性もある。現在のところ、ヒヌマイトトンボとキヒロソゴミムシが記録されている川崎市内のヨシ原については、直接の脅威は無いようであるが、今後の生息地保全が強く望まれる。

筆者らの観察は断片的なものであり、確認できた種類数もわずかなものである。今後は、より多数の種類の確認や両岸の生息環境の比較も含め、地道に調査を続けていきたい。また、未同定の種が残ったが、これについては別の機会に報告したい。

IV 採集目録

採集地の表記：採集地はすべて川崎市川崎区(Kawasaki C., Kawasaki-ku)であり、以下これを略す。上流側のヨシ原を殿町多摩川(Tonomachi, Tama Riv.)、下流側のヨシ原と海浜植生を殿町多摩川河口、堤内地を単に殿町と表記し、区別する。

オサムシ科 Carabidae

Scarites terricola Bates ナガヒョウタンゴミムシ
殿町多摩川河口, 1ex. 21. VIII. 1999, 鎌倉正人採集。

土中に坑道を掘って生活している。近縁のヒョウタンゴミムシ *S. aterrimus* は海岸の昆虫だが、本種はむしろ内陸にみられる。

Bembidion semiluitum Bates ハマベミズギワゴミムシ

殿町多摩川, 2exs. 21. XI. 1999, 鎌倉正人採集。
Platynus leucopus (Bates) タンゴヒラタゴミムシ
殿町多摩川河口, 1ex. 17. 1V. 1999, 鎌倉正人採集。

平地の湿地に普通の種。

Lebia viridis Say コルリアトキリゴミムシ
殿町, 14exs. 21. VIII. 1999, 鎌倉正人採集。
アカバナトビハムシと共に, オオマツヨイグサより
得られた。

Drypta fulveola Bates キイロホソゴミムシ
殿町多摩川, 2exs. 26. III. 1999, 鎌倉正人採集,
22exs. 30. III. 1999, 荻部治紀採集, 1ex. 4. IV.
1999, 鎌倉正人採集。
神奈川県初記録。

エンマムシ科 Histeridae

Hypocaccus varians (Schmidt) ハマベエンマムシ
殿町多摩川河口, 1ex. 17. IV. 1999, 鎌倉正人採集。
平野幸彦氏同定。

ハネカクシ科 Staphylinidae

Phucobius simulator Sharp ウミベアカバハネカクシ
殿町多摩川河口, 1ex. 17. IV. 1999, 鎌倉正人採集。
殿町多摩川, 1ex. 21. XI. 1999, 鎌倉正人採集。
海岸のごみや海藻の下などで普通にみられる種。

Triomicrus simplex Sharp ツヤマルムネアリズカムシ
殿町多摩川, 5♂ 15. IV. 1999, 荻部治紀採集。
野村周平博士同定。河口部のヨシ原から得られる種
で, キイロホソゴミムシを探索中に, 泥の上を活発に歩
いているところを採集した。神奈川県初記録。

Basitrodes sp.
殿町多摩川, 1♂ 15. IV. 1999, 荻部治紀採集。
野村周平博士同定。未記載種で, 木更津の小櫃川でも
得られているとのことである。前種と同様の場所で採集
された。

コガネムシ科 Scarabaeidae

Anomala japonica Arrow ヤマトアオドウガネ
殿町, 1ex. 16. VIII. 1999, 鎌倉正人採集。
市街地の植え込みや空き地にみられる, 大師橋の灯火
にも飛来していた。

コメツキムシ科 Elateridae

Agrypnus tsukamotoi (Kishii) ハマベオオヒメサビ
キコリ
殿町多摩川河口, 2exs. 17. IV. 1999, 鎌倉正人採
集。
鈴木互氏同定。

カッコウムシ科 Cleridae

Neohydnius hozumii Nakane ヤマトヒメメダカ

カッコウムシ
殿町多摩川, 2exs. 1. VII. 1999, 鎌倉正人採集。

テントウムシ科 Coccinellidae

Hippodamia tredecimpunctata (Linne) ジュウサン
ホシテントウ
殿町多摩川, 1ex. 1. VII. 1999, 藤沢寿美子 (S.
Fujisawa) 採集。

Epilachna vigintioctopunctata (Fabricius) ニジュ
ウヤホシテントウ
殿町, 1ex. 21. VIII. 1999, 鎌倉正人採集。

ヒメマキムシ科 Lathridiidae

Corticaria ornata Reitter クロオビケシマキムシ
殿町多摩川, 2exs. 15. IV. 1999, 荻部治紀採集。

アリモドキ科 Anthicidae

Pseudoleptaleus valgipes (Lewis) ヨツボシホソア
リモドキ
殿町多摩川, 1ex. 15. IV. 1999, 荻部治紀採集。

ゴミムシダマシ科 Tenebrionidae

Gonocephalum persimile (Lewis) ヒメスナゴミム
シダマシ
殿町多摩川河口, 2exs. 17. IV. 1999, 鎌倉正人採
集。
河原の砂地などにみられる種。川田一之氏同定。

ハムシ科 Chrysomelidae

Lema decempunctata Gebler トホシクビボソハムシ
殿町多摩川河口, 2exs. 17. IV. 1999, 鎌倉正人採
集。
クコにつく普通種。

Hispanellus moerens (Balv) クロトゲハムシ
殿町多摩川河口, 1ex. 21. VIII. 1999, 鎌倉正人採
集。
見かけたのはこれ1頭のみで稀である。

Altica oleracea (Linne) アカバナトビハムシ
殿町, 4exs. 21. VIII. 1999, 鎌倉正人採集。
オオマツヨイグサにつく普通種。

ゾウムシ科 Curculionidae

Scepticus uniformis Kono トビイロヒョウタンゾウ
ムシ
殿町多摩川河口, 2exs. 17. IV. 1999, 鎌倉正人採集。

謝 辞

本報告をまとめるにあたり、標本の同定でお世話になった国立科学博物館の野村周平博士、ならびに鈴木亙・平野幸彦・川田一之の各氏に厚くお礼申し上げます。

Summary

The estuary of Tama River has unique environments in Tokyo Bay: intertidal marshes and a narrow patch of coastal grassland. Beneath a reed community in this riverbank, we discovered an endangered species, *Drypta fulveola* Bates (Carabidae), which had hitherto been unknown from Kanagawa Prefecture. We also found several other coleopterous species peculiar to this estuary in Kawasaki City. The characteristics of the habitats of these species were discussed.

文 献

- 江本健一 (1997) 大田区のゾウムシ類 (コウチュウ目). 大田区自然環境保全基礎調査報告書—大田区の昆虫—, 174—178.
- 林長閑 (1991) ヨシ群落に生息するヤマトヒメメダカカッコウムシの幼虫, 川崎市自然環境調査報告 II, 129—133.
- 平野幸彦 (1992) その後のコルリアトキリゴミムシの分布, 神奈川虫報, (99), 10.
- 平野幸彦 (1995) 甲虫類. 神奈川県レッドデータ生物調査報告書, pp. 212—254, 神奈川県立博物館調査研究報告 自然科学 第7号.
- 平野幸彦 (1997a) 神奈川県海岸性甲虫類. 神奈川虫報, (118), 7—18.
- 平野幸彦 (1997b) 神奈川県ハムシ類, 神奈川虫報, (120), 1—54.
- 岩瀬和夫 (1989) 千葉県外房のキイロホソゴミムシ. 月刊むし, (226), 2.
- 金子義紀 (1997) 大田区のコウチュウ目. 大田区自然環境保全基礎調査報告書—大田区の昆虫—, 130—154.
- 環境庁編 (1991) 日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック— (無脊椎動物編) pp. 37—38, 49, (財) 日本野生生物研究センター, 東京.
- 笠原須磨生 (1997) 大田区の歩行虫類 (コウチュウ目). 大田区自然環境保全基礎調査報告書—大田区の昆虫—, 155—163.
- 松本浩一 (1994) キイロホソゴミムシの食性に関する一知見. プテロニュース, (11), 7.
- 宮野伸也・山口剛 (1994) キイロホソゴミムシ (甲虫目: オサムシ科) の生態. 千葉中央博自然誌研究報告, 3 (1), 105—108.
- 大川秀雄 (1997) 渡良瀬遊水池の甲虫 (水生食肉亜目と

ガムシ上科を除く). 渡良瀬遊水池の動植物実態調査報告書 (昆虫編), 56—96.

鈴木亙 (1997) 大田区のコメツキムシ類. (コウチュウ目). 大田区自然環境保全基礎調査報告書—大田区の昆虫—, 168—173.

高桑正敏・中村一恵 (1989) 川崎市多摩川河口域におけるクモガタテントウ. 神奈川自然誌資料 (10), 87—88.

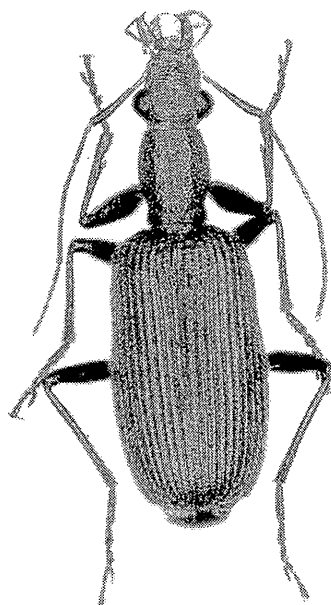


図1 川崎市産キイロホソゴミムシ (背面)

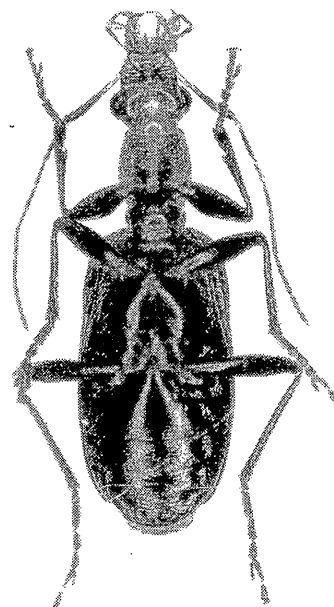


図2 同 (腹面)